



令和6年2月26日  
垂井こども園

梅の花が咲き始め、少しずつ春を感じられるようになってきました。今年は予想以上に雪が降り、子どもたちは雪遊びや氷遊びを存分に楽しむことが出来ました。今年度も残りわずかとなりましたが、1年間を振り返りながら、子どもたちと元気いっぱい過ごしていきたいと思います。

## 節分会

ピンクの心になりましたね



大きくなーれ!



福は内!

鬼は外!

イヤイヤ鬼はいないか〜?



園での節分会は2月2日でした。子どもたちが節分の由来の話を聞いていると、「怒りんぼ鬼はいないか〜」「泣き虫鬼はいないか〜」「いやいや鬼はいないか〜」と、鬼が登場!ドキドキしながらも、「鬼は〜外!」「福は内!」と、必死に新聞紙で作った豆を投げて、鬼を追い払いました。

鬼を退治した子どもたちへ、福の神からピンクのハートが届きました。心の鬼を追い払い、ピンクのハートを胸に貼り、福を呼び込むことができたようです。



## 雪遊び

足が抜けない…

もっと高くしよ～



すべり台だ～!



子どもたちの腰程ある雪の中に、足をズボッと入れて「ふかーい!」「なかなか歩けない!」と、悪戦苦闘しながらも、雪だるまや滑り台、かまくらなどを作ったり、雪合戦をしたりしながら楽しんでいる子どもたち。「真っ白なじゅうたんみたい!」「手が冷たくて痛い!」と、見たこと、感じたことを言葉にしながら雪遊びを楽しんでいました。

## 垂井東こども園との交流



垂井東こども園の5歳児が、垂井こども園まで遊びに来てくれました。歌や楽器を披露し合ったり、一緒にドッジボールや固定遊具で遊んだりしました。遊戯室で一緒に給食も食べ、仲良くなった子どもたち。「また遊ぼうね!」「今度はぼくたちが遊びに行くからね」と、約束していました。